



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：柏手 茂 副会長：白石 慎太郎 幹事：米山 俊二 クラブ会報委員長：平井 敬規

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2022年 5月19日 第 3363 回 週報第 3363 号

本日 5月19日	会員数 62名	対象者 62名	出席者 45(45)名	出席率 72.58%			
前々回 4月21日	会員数 61名	対象者 61名	出席者 46(46)名	出席率 75.41%	MUP 4名	計 50名	修正率 81.97%

65周年記念 例会

「会長挨拶」

2021-22 年度会長
柏手 茂



我が平塚ロータリークラブは、令和4年の記念すべき年度に創立65周年を迎えることができました。また、本日は落合克宏平塚市長、RI第2780地区田島透ガバナーを初め、遠方より親クラブ横濱ロータリークラブ吉永昌生会長、友好クラブの花巻RC橋川秀治会長ほか多数の来賓の皆様のご列席のもと記念例会をクラブ会員と共に盛大にお祝いできます事は、大いなる喜びとする所でございます。

さて、昭和、平成、令和と時代が変わるなかで、我々を取り巻く環境を見ても、日本経済の先行き不透明、近年頻りに起きる自然災害に対する備え、少子高齢化による将来への不安等々様々な社会的・経済的不確実性が増している中で、本日の式典を力強く迎えられました事はクラブ会員各位の意識の高さと、日頃よりご親交頂いております第8グループの他クラブ、姉妹、友好クラブのご協力とご支援の賜物であると感謝申し上げます。

当クラブは、昭和32(1957)年2月22日、横濱ロータリークラブの高岡鎮彦(たかおか しずひこ)氏を特別代表とし、チャーターメンバー22名、同年4月22日にRIよりクラブ設立の承認を受けました。認証伝達式は同年(1957)年11月29日横浜ゴム迎賓館に於いて盛大に挙行されました。

チャーターメンバーは、ロータリー経験のない22名でのスタートとなり初代岩堀正臣会長、荒井権八幹事のもとで大変ご苦労されたと伺っております。以来時代の変化に伴い会員数も増加し、創立5年の記念事業として、厚木、秦野クラブ設立し、その後、平塚がスポンサーとなり11年度に大磯クラブ、15年度に平塚北クラブ、17年度に二宮クラブを誕生へと導きました。そして、秦野クラブがスポンサーとなり、伊勢原クラブが誕生し、初の孫クラブとなりました。社会情勢・環境の変化により会員数を各自に増やし、先人たちの熱い想いを受け継ぎながら17年前にいち早く女性会員が入会し既に会長・幹事、ガバナー補佐としても活躍されており、ダイバーシティなクラブを築き上げ活発な活動を続けております。

65年を迎える歴史と伝統を築き上げて来られた歴代先輩各位に敬意を表すと共に、これからも地域社会、国際社会に貢献できる存在感のあるクラブとして発展すべく努力致す所存であります。引き続き、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



「創立 65 周年を祝して」

平塚市長
落合克宏

平塚ロータリークラブが結成65周年を迎えられますことをお喜び申し上げます。皆さまにおかれましては、長きにわたり、奉仕の理念を掲げて社会福祉や青少年の健全育成など多方面でご協力を賜りました。貴クラブの発展に力を尽くしてこられた、歴代会長をはじめ会員の皆さまの熱意とご努力に対し、深く敬意を表します。

貴クラブが創立された昭和32年2月、平塚市の人口は10万人に届かない規模でしたが、同年10月に中郡金目村と合併して現在の市域となり、10万2千人余りを擁するまちになりました。当時は、戦災からの復興に続くさらなる発展に向け、市民が一丸となって汗を流しながらまちの礎を築いていた時代です。皆さまの温かい思いやりとお力添えがあったからこそ、現在に至る平塚市の成長に大きな弾みができたものと心から感謝申し上げます。

平塚市は、令和4年4月1日に市制施行90周年の節目を迎えます。歴代の皆さまを始めとする先人たちのたゆまぬ努力で、約25万7千人のまちへと築き上げられてきた本市の歴史を振り返り、多くの魅力を再確認するとともに、それをしっかりと活用し、持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えています。そして、100周年へ、さらにはその先の未来に向けて、「選ばれるまち・住み続けるまち」となるよう、決意を新たに市政運営に邁進してまいります。

さて昨今は、新型コロナウイルスの影響で、幅広い分野にわたって新たな配慮が求められるようになりました。皆さまの活動も制限され、もどかしい思いを抱かれていますに違いありません。しかし、皆さまはこうした厳しい状況にあっても、地域や社会の発展、経済の活性化などに向けて、知恵と力を結集してそのとき必要とされていることを的確に汲み取り、着実に実行されてきました。常に創意工夫をもって社会を動かし続けようとする気概にあふれていて、非常に頼もしく思っております。

将来的に人口減少や高齢化が進んでいく社会では、身近な人やお仲間と気軽に声を掛け合える関係を築くことがとても大切で、人と人のつながりは地域社会でなくてはならないものです。時代を経るにしたがって世知辛くなった世の中の風潮に抗えない感はあるものの、皆さまの力で人の優しさを感じる機会を少しでも増やし、豊かな社会の構築を後押ししていただけることを期待しています。市制施行90周年のキャッチフレーズ「人と自然がふれあうまち、つなぐ未来へ」にもあるように、引き続き、未来を見据えたまちづくりに皆さまのお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、平塚ロータリークラブのますますのご発展と会員の皆さまのご活躍とご健勝をご祈念申し上げ、私からのお祝いのことばといたします。

「平塚ロータリークラブ
創立 65 周年」横濱ロータリークラブ
会長吉永昌生

平塚ロータリークラブの皆様、創立 65 周年おめでとうございます。65 年といえば、定年退職とか年金支給開始年齢とか、人生でも大きな区切りとなる年でもあります。私も一昨年 65 歳となり、高齢者の仲間入りをし、65 年間を振り返り、そして 65 歳以後の人生をどの様に生きて行くか考えました。その 65 歳の時に横濱ロータリークラブの会長に就任することも決まり、会長就任を機に、もう一度ロータリーの理念を勉強し直しました。ロータリーの目的は、企業人に「高い職業倫理感」と「奉仕の理念」を奨励することと考えます。「奉仕の理念」とは「見返りを期待せず、GIVE&GIVE の心で他人に尽くすこと」と考えます。私は 65 歳以降の人生を、私心を捨て利他の精神の「奉仕の理念」で生きて行こうと考えております。ロータリーの事業とは別に、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕を自分なりに事業計画し自分のライフワークにしたいと思っております。私の 65 周年のお話で、大変恐縮でした。

さて、平塚ロータリークラブの誕生であります。横濱ロータリークラブの 40 周年記念誌によりますと、「昭和 32 年 2 月 20 日横濱ロータリークラブがスポンサークラブとなり、特別代表高岡鎮彦、チャーターメンバー 22 名、会長岩堀政臣、幹事新井権八、例会日金曜日 12 時 30 分、例会会場平塚レストハウス、事務所平塚商工会議所内」と記載がございます。また、当時の横濱ロータリークラブの会長は永沼政久で、昭和 38 年～ 39 年第 258 区ガバナーを務めておりました。平塚ロータリークラブ創立時は横濱ロータリークラブと貴クラブは国際ロータリークラブ第 62 区に所属しており、神奈川・山梨・静岡・愛知・富山・石川・岐阜がその範囲でありました。

ちなみに当時は日本のロータリークラブは 4 区に分割されておりましたが、翌年度に 5 区に分割され、神奈川は第 355 区に所属となり、その範囲は関東地区となりました。そして、当クラブと貴クラブが別の地区となってしまいましたのが、1989 年のことでありました。私共、横濱ロータリークラブは 5 年後に 100 周年を迎えることとなっております。その節目をどの様に迎えばよいのか、どの様なクラブとなっていけばよいのか、今から考えている次第です。皆様も 65 周年を迎え、さらなる飛躍をお考えとのことと思います。貴クラブが、70 周年、100 周年に向けまして、益々ご隆盛なさることをお祈り申し上げまして、私共横濱ロータリークラブ代表としてのお祝いの言葉とさせていただきます。

創立 65 周年おめでとうございます。

「友好クラブ平塚 RC
65 周年記念例会挨拶」

花巻ロータリークラブ
2021-2022 年度
会長 橋川 秀治



親愛なる平塚 RC の皆様、平塚 RC 創立 65 周年、誠におめでとうございます。1982 年、平塚市民の保養先として花巻市との交流が始まり、1984 年に友好都市提携の運びとなり、翌 1985 年 4 月 22 日に友好クラブ盟約が締結されました。今年で 37 年の友好の歴史の中でも 2011 年の東日本大震災の折には多額の義援金をお送り頂いたことは忘れられない出来事として語り継がれています。その義援金は親交の深かった釜石 RC を経由して津波被害を受けた沿岸部の復興・整備に役立てられ、そのエピソードは絵本にもなっています。

両クラブの交流は年 2 回の相互訪問を中心に続けられて参りましたが、2020 年の 2 月に花巻にお迎えして以来、新型コロナパンデミックにより、直接お会いすることが叶わない状態が続いております。そんな折の昨年 4 月に当時の鳥山会長から花巻への思いのこもったビデオメッセージが届き、「流石は平塚 RC」と大変な状況下でも変わらぬ友情に花巻 RC 会員一同感動しました。

私が初めて平塚 RC を訪問したのは 2015 年の 6 月の第 3000 回例会でした。入会后 4 ヶ月で RC のことも良く分からず、なかなか例会出席もままならない状態でしたが、平塚 RC の例会参加でロータリーがつなげる友情の素晴らしさを実感し、もっとロータリーのことを知りたいと思ったことを思い出します。

昨年、柏手会長にお電話をさせて戴いた折にコロナ禍だからこそ、コロナ禍でも出来る相互交流についてお話しして、オンラインの共同例会を開催しようということになりました。当時、コロナ禍の影響で花巻 RC の例会場が急遽変えなくてはならなくなり、お待ち頂いておりましたが、年明けからホテルグランシェール花巻に例会場を定めましたので、実現に向けて協議したいと考えております。

オミクロン株による感染拡大は続いていますが、一方で終息の兆しも見えて来ています。花巻 RC 会員一同、直接平塚ロータリークラブの皆様と交流ができる日が早く来ることを心から願っております。鳥山ガバナー補佐、柏手会長のもと、平塚ロータリークラブの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、挨拶と致します。

この度は本当におめでとうございます。

「平塚ロータリークラブ
創立 65 周年記念例会挨拶」

実行委員長
清水 裕



平塚ロータリークラブ創立 65 周年記念例会及び記念講演会開催にあたり、実行委員会委員長として、一言ご挨拶申し上げます。当日は、落合市長、田島ガバナーをはじめ多くのご来賓にご臨席いただき、衷心よりお礼申し上げます。

今回の記念例会は、当初 2 月 17 日の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため 5 月 19 日に延期をいたしました。延期にも拘らず、来賓をはじめ多くの方々にお越し頂きましたこと重ねてお礼申し上げます。また、今回の記念例会及び講演会においても、感染対策を講じたうえで開催となり皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。

平塚ロータリークラブは、1957 年、ご出席いただきました横浜ロータリークラブをスポンサーに平塚の地に誕生いたしました。以来 65 年間、地域社会等への様々な事業を通し、ロータリーの基本理念である奉仕の理想を実行してまいりました。その間、チャーターメンバーをはじめ数多くの先輩たちの努力と、本日ご出席頂いた来賓の皆様をはじめ多くの方々力添えのお蔭をもって本日を迎えられることに、改めて衷心よりお礼を申し上げます。

「年年歳歳華相似たり、年年歳歳人同じからず」の言葉のように、この 65 年の間メンバーも変わってまいりましたが、ロータリーを通しての奉仕活動への思いは連綿と受け継いでまいりました。記念例会においても、その一端として平塚市、米山記念奨学会、ロータリー財団への寄付、また平塚市への文化振興へご尽力された陶山さんへロータリー文化奨励賞授与のセレモニーを行いました。

その思いのもと、65 周年から新たにスタートをするべく、昨年、クラブビジョン声明を採択いたしました。その中で、「良き伝統を堅持し、革新と進化に挑戦することで革新的なクラブを目指す」と記されております。

これからも、新たな平塚ロータリークラブの歴史を刻むべく、会員一同、地域社会や多くの人々に対し「奉仕の理想」の実現に邁進して参ります。来賓の皆様をはじめ地域の方々には、65 年間のご厚情に感謝するとともに、今後の平塚ロータリークラブへの倍旧のご支援をお願いいたします。

5年間の活動報告

61年度：清水孝一会長 高橋賢二幹事

- ◆60周年記念事業を年間を通じて行いました。
 - ◆11月創立記念コンペでは、END POLIO NOW チャリティーゴルフコンペを開催した。
 - ◆12月には、中国ハンセン病回復者支援で広州の施設を視察した。
 - ◆2月クラブ創立60周年記念式典を挙行同じ月に記念事業として「日中若者交流会」、
 - ◆5月記念講演会：講師にジャパネットたかた創業者の高田明氏を招き一般公開にて実施した。
- ◇期末会員 61名

62年度：片野之万（ゆきかず）会長、三荒弘道幹事

- ◆クラブ組織の四大奉仕部門を五大奉仕部門に改正し、親睦、奉仕の事業を実施。
 - ◆8月湘南ひらつか花火大会を鑑賞、
 - ◆12月台南東 RC を訪問、
 - ◆3月少年少女マラソン大会の運営、
 - ◆緑化まつりでの巣箱づくり
 - ◆5月春の家族会
 - ◆親クラブである横浜 RC を訪問
 - ◆6月花巻 RC を訪問、同月ロータリー奉仕デーとして、「end polio now」キャンペーンを行う。
- ◇期末会員 61名

63年度：杉山昌行会長、木村義広幹事

- ◆クラブテーマを「明るく楽しいロータリアンライフを实行しよう」とした。
 - ◆7月湘南ひらつか七夕まつりに従来の竹飾りから、看板形式での飾りに変更しロータリーの公共イメージ向上に取り組んだ
 - ◆11月には、平塚学園インターアクトクラブがホストとして、年次大会を実施し、提唱クラブとして参加をした。
 - ◆会員研修としては、静岡の米山梅吉記念館の見学しロータリーの米山記念奨学会について学ぶ機会を設けた。
 - ◆ロータリー文化賞の贈呈：世界とつながるダンス教室代表 中込孝規氏 1年半で18か国57都市をまわり、1万人以上の子供たちにダンスを教えた。世界とつながるダンス教室を平塚で主宰している。
- ◇期末会員 61名

64年度：清水裕会長、森誠司幹事

- ◆クラブテーマは、「つながり」会員相互のつながり、地域とのつながり、あらゆるつながりを考える1年を目指した。具体的には、お茶会を開催した。このお茶会という会合は、ベテラン会員と新入会員の懇談会、意見交換やクラブの歴史歩みを学ぶことができる会を実施した。
- ◆11月台湾の2つのRCを訪問した。1つは姉妹クラブの台南東 RC、当クラブでお世話した米山奨学生だった徐重仁氏がチャーターメンバーである、台北東海 RC を訪問し、つながりを実感した事業を行う。
- ◆2月には花巻 RC 訪問し、「全国わんこそば大会」に当クラブから3名が参加しおそばを堪能してきた。

- ◆また、新型コロナ対応の最前線の医療従事者の負担軽減するための使用済みのおむつを密閉処理する医療機器2台を平塚市民病院に寄贈した。しかし、年度後半は、新型コロナウイルスの感染拡大と緊急事態宣言の発出に伴い、3月以降クラブ事業はほぼ停止状態となった。会員への一斉メール等でコミュニケーションを図った。今後、緊急事態に対応したクラブ活動の在り方に課題の残ることとなった。

◇期末会員 62名

65年度：鳥山優子会長、江藤博一幹事

- ◆「手を差し伸べよう。まずはあなたの隣から」をクラブテーマとした。
- ◆新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態が私たちを襲い、相次ぐ事業の中止となった。このような状況でも少しでもやれることはないか、やれる方法を考えようという事でいろいろと変化を試みた。
- ◆対面例会の円卓からスクール形式に変更、緊急事態宣言中は、web 例会として you tube で会長、幹事報告や会員の近況報告など、可能な限り情報共有をするように努めた。
- ◆オンラインでの家族会、「旅行行った気になるツアー」を開催ハワイ・ホノルルとつないで実施した。長期計画委員会では、クラブビジョン声明を策定し、クラブ協議会で承認された。
- ◆また、平塚ロータリー基金から平塚市民病院にコロナ患者を院内で搬送するための「陰圧車椅子」を寄贈した。



ロータリー財団と米山記念奨学会へ目録贈呈



平塚市へ目録贈呈

ご来賓出席者芳名簿(敬称略・順不同)

平塚市長	落合 克宏
平塚商工会議所 会頭	常盤 卓嗣
国際ロータリー 第2780地区 ガバナー	田島 透
国際ロータリー 第2590地区 横浜ロータリークラブ(スポンサークラブ)・・・会	長 吉永 昌生
国際ロータリー 第2520地区 花巻ロータリークラブ(友好クラブ)・・・会	長 橋川 秀治
・・・・・・・・国際奉仕大委員長	三田 望
国際ロータリー 第2780地区 第8グループ ガバナー補佐	鳥山 優子
国際ロータリー 第2780地区 秦野ロータリークラブ	長 大澤 公一
国際ロータリー 第2780地区 厚木ロータリークラブ	長 森住 等
国際ロータリー 第2780地区 大磯ロータリークラブ	パストガバナー 河本 親秀
国際ロータリー 第2780地区 平塚北ロータリークラブ	長 相原 清
国際ロータリー 第2780地区 二宮ロータリークラブ	長 大岩 園子
国際ロータリー 第2780地区 平塚西ロータリークラブ	長 小泉 守
国際ロータリー 第2780地区 平塚湘南ロータリークラブ	長 近藤 勝茂
国際ロータリー 第2780地区 平塚学園高等学校インターアクトクラブ	顧問 教諭 内藤 誠
米山記念奨学生(東京工芸大学生・中国)	馬 躍航
真田与一の郷(さと)づくり協議会	長 陶山 豊彦

講師略歴 **立川 志遊** たてかわ しゆう 立川流裕属

昭和 42 年東京都北区赤羽で生まれる。
平成 3 年、埼玉大学を経て、7 代目立川談志に入門。
16 番目の弟子。前座名「志楼」。
11 年 11 月 2 目昇進「志遊」。
21 年、真打昇進。

立川流きっての正統派といわれ、古典落語では端正な語り口が定評。人情噺、滑稽噺は心境著しい。日暮里寄席、上野広小路亭で独演会を積極的に開催。老若男女、多くのファンをつかんでいる。談志師匠は「律儀、まじめな男、非常識、自由さをもって羽ばたけ」とエールをおくっている。

17 年、第 4 回相模原若手落語家選手権優勝。令和 2 年には、「源平盛衰記外伝・石橋山合戦 相模武士の誉 真田与一編」を創作落語としてまとめ、好評を博している。

出囃子は「並木駒形」。特技は、寄席の踊り「奴さん」「かっぱれ」等。趣味は俳句、酒(なんでも)。百番寄席には、最近では平成 26 年 7 月、令和 2 年 11 月に出演。



創立65周年記念例会プログラム

記念例会

12:00	点 鐘 開会の言葉 国歌 斉唱	日本国国歌 ロータリーソング“奉仕の理想” 「四つのテスト」唱和	司 会 会 長 実行委員長 ソングリーダー 副 会 長	松本 崇 原田 篤志 柏手 茂 清水 裕 関口 幸恵 白石慎太郎
	物故会員への黙禱 ご来賓紹介 会長挨拶 5年間の活動報告(2017~2022) 目録贈呈	平塚市 ロータリー財団 米山記念奨学会	実行委員長 会 長 会 長	清水 裕 柏手 茂 柏手 茂
	祝 辞	平塚市 国際ロータリー第2780地区 スポンサークラブ 横浜ロータリークラブ 友好クラブ 花巻ロータリークラブ	市 長 ガバナー 会 長 会 長	落合 克宏様 田島 透様 吉永 昌生様 橋川 秀治様
	祝電披露 平塚ロータリー文化奨励賞贈呈	真田与一の郷(さと)づくり協議会会長		陶山 豊彦様
	閉会の言葉 点 鐘 諸事お知らせ		副実行委員長 会 長	森 誠司 柏手 茂
12:50	昼 食 会 乾 杯	国際ロータリー第2780地区	ガバナー補佐	鳥山 優子様

記念講演会

14:00	挨拶・講師紹介		講 師	立川志遊師匠
		「源平盛衰記外伝・石橋山合戦 相模武士の誉 真田与一編」		
15:10	お礼の言葉		会長エレクト	清水 雅広



ソングリーダーの関口幸恵会員



第8グループ鳥山優子
ガバナー補佐による乾杯

平塚ロータリー文化奨励賞

真田与一の郷(さと)づくり協議会
会長 陶山豊彦

湘南百番落語会では、平塚発の平塚ならではの落語を広めたいと考え、創作 源平盛衰記外伝 石橋山合戦「相模武士(もののふ)の誉～真田与一編～」の台本作成と講演を実施した。この落語作成に、平塚真田地区の武将「真田与一」を題材にするにあたり、真田与一の郷づくり協議会の陶山豊彦会長の歴史的資料をもとに平塚ゆかりの武将の創作落語を完成させた。

陶山会長は、真田与一を2才から育て上げ、石橋山合戦で8人を討った陶山文三家安をご先祖にもつ人。真田与一の遺徳を「今」伝える活動を「真田与一の郷づくり協議会」として行う。毎年4月に行われる湯河原町の頼朝旗挙げパレードでは、平塚から岡崎四郎義実、真田与一義忠、土屋三郎宗遠、土屋次郎義清、豊田五郎景俊などが参列。また、与一の命日には天徳寺の境内にある与一堂にて墓前祭を行っている。そして陶山会長は、紙類を使い本物のよ



平塚ロータリー文化奨励賞を陶山豊彦様へ贈呈

うな鎧づくりをされ、湯河原町長からのワークショップの開催要請に応えるなど活動され、平塚市金目公民館ホール等での公演も計画している。

地元の歴史的人物を題材にした地域愛を育む創作落語の作成に、多大なる役割を果たし完成させた陶山豊彦氏は、平塚ロータリー文化奨励賞に相応しい方であると思われます。

2017～2022年 物故会員氏名(在籍中にご逝去された方)



小泉 芳郎 会員
令和3年3月7日 ご逝去
享年96歳



小笠原 勲 会員
令和3年4月2日 ご逝去
享年88歳



メイクアップ (MUP)

4名

青木薫会員、秋山智会員、小野学会員、馬上晋会員

本日のスマイル

23名

65周年記念例会実行委員会

実行委員長:清水裕 副実行委員長:森誠司
顧問:升水一義
相山洋明、市川雅範、平井敬規、瀬尾光俊、清水雅広、永瀬剛司

